

2024 年 10 月入学・2025 年 4 月入学 地域デザイン研究科 試験問題

博物館学（出題意図）

（芸術デザインコース 一般入試・外国人留学生入試）

【出題意図】

博物館のあり方に関して最新の課題を正しく把握し、それに対する論点と解決のビジョンを持っているかを問う。

- 下記のような博物館をとりまく世界的な背景を適切に把握・理解しているか
- それを踏まえて今後の博物館のあり方について具体的な問題意識を持っているか

2022 年 4 月に博物館法改正法（「博物館法の一部を改正する法律」）が可決・成立し、翌 2023 年 4 月に改正博物館法が施行された。同法では地域振興や文化観光への貢献を博物館の義務とし、博物館を文化施設としても位置づけることが初めて明文化された。これは、博物館を文化資源保存活用施設と定義する文化観光推進法との整合性を図り、収蔵資料の活用によって博物館が地域社会に貢献することを求めるものである。

さらに、ICOM（国際博物館会議）が 2022 年の第 26 回プラハ大会で「博物館の定義」の改正を採択した。その新定義は、「博物館は、有形及び無形の遺産を研究、収集、保存、解釈、展示する、社会のための非営利の常設機関である。博物館は一般に公開され、誰もが利用でき、包摂的であって、多様性と持続可能性を育む。倫理的かつ専門性をもってコミュニケーションを図り、コミュニティの参加とともに博物館は活動し、教育、楽しみ、省察と知識共有のための様々な経験を提供する。」としており、社会とのコミュニケーションやコミュニティとの関わりを重視している。